

日本における人権問題

はじめに(自己紹介・講義概要)

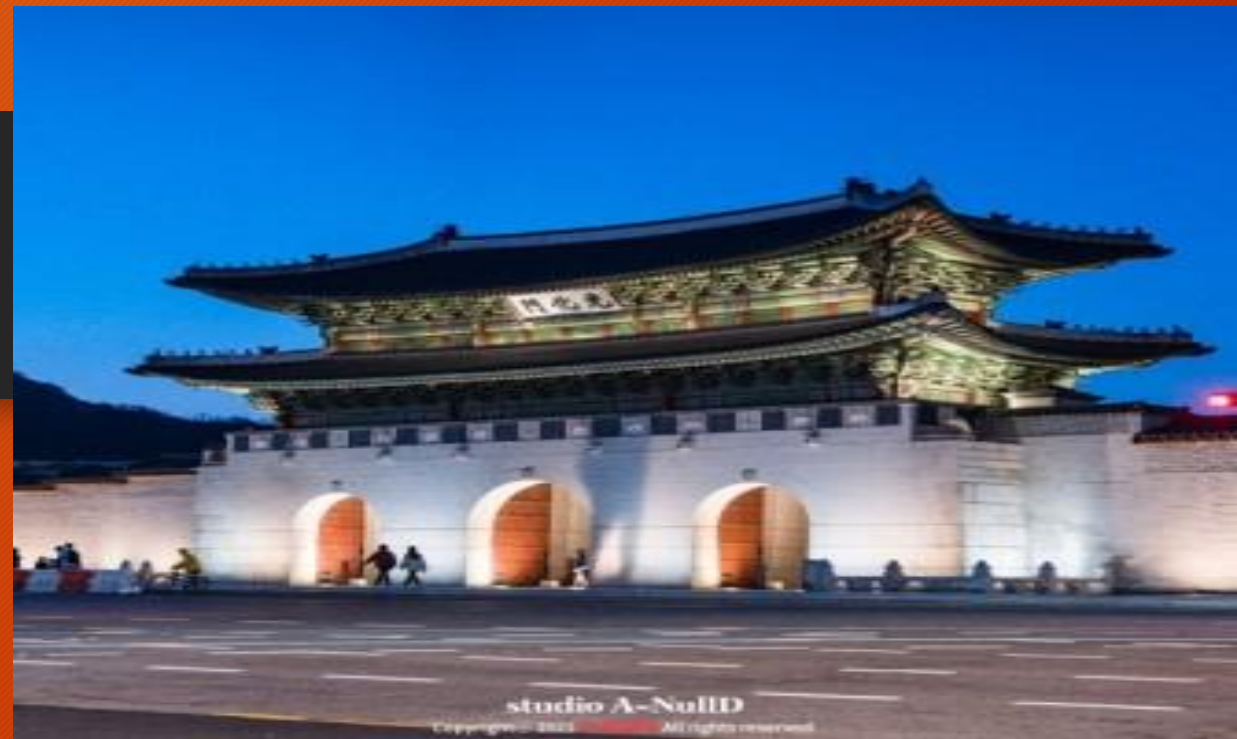
1. 国際人権の歩み

2. 日本と国際人権

総まとめ

自己紹介

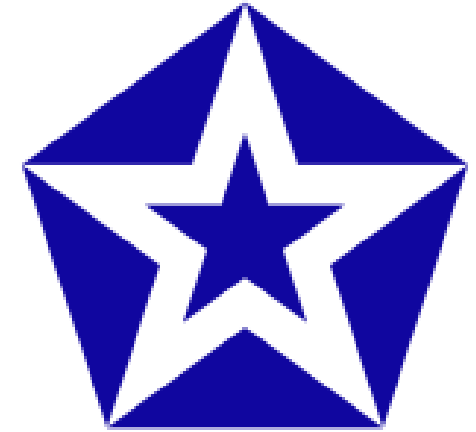
1. 出身：
韓国ソウル・明知大学
2. 学歴・職歴：
龍谷大学大学院法学博士
(現)北海道教育大学准教授
3. 専門分野
国際法・国際海洋法
4. 講義概要
人権概念の定義・日本と人権



国際人権の歩み

- そもそも人権(Human Rights)って、何？
- 人権は国内問題？国際問題？
Ans: WWⅡまでは国内問題、WWⅡ以降、国際連合の
成立とともに、国際問題として定着
- 初の国際人権条約：§ 世界人権宣言(1948)
§ 国際人権規約(1966)：自由権規約と社会権規約
§ その後の人権条約：人種差別撤廃条約、児童の権利に
関する条約・女子差別撤廃条約・難民条約等
§ 締約国の義務：定期報告書
- 人権裁判所：欧州人権裁判所

LEAGUE OF NATIONS



SOCIETE DES NATIONS



日本と国際人権

- 前述の国際人権規約への定期報告書
- 自由権規約人権委員会からの指摘;
EX) 非嫡出子の相続権・マイノリティーの権利
(単一民族国家)
- 日本における少数民族: 在日韓国・朝鮮人の民族学校の問題
→ 文部科学省の運営交付金(学校法人)
- ヘイトスピーチ(在日特権を許さない市民の会=在特会)と、
映画「靖国」
- 外国人の参政権問題



まとめ

- 人権意識の高揚
社会における「あらゆる差別と偏見」の排除
- 多文化共生社会の実現
「文化の強要」ではなく「調和」、その根底には尊重
→命令ではなく、説明
- 外国人の参政権問題：ペルーのフジモリ大統領